

令和6年度 (公社) 砂防学会九州支部 現地研修会 実施報告

公益社団法人 砂防学会九州支部

令和6年11月29日(金)に砂防学会九州支部主催で現地研修会を実施しましたので、ここに報告いたします。

令和2年7月に球磨川右支川の川内川で発生した土砂・洪水氾濫の土砂発生源である付加体の大規模崩壊地付近まで登り、鹿児島大学名誉教授の地頭菌先生に講義頂きました。また、下流の球磨川合流点の氾濫被害箇所付近を見学しました。現地では崩壊地の地質特性等についての議論を通して参加者間の交流も図りました。

1. 日時

令和6年11月29日(金) 9:30~17:30

2. 現地見学箇所

球磨川右支川 川内川 (熊本県球磨郡球磨村大岩地区)

3. テーマ

付加体の大規模崩壊地調査実習—令和2年川内川土砂・洪水氾濫の土砂発生源—

4. 講師

鹿児島大学 地頭菌名誉教授

5. 参加人数

15名 (正会員9名,学生会員1名,非会員5名)



(崩壊地付近での講義、議論の様子)



(崩壊地の様子)



(氾濫被害箇所の様子)



(参加者の集合写真)

(謝辞) 本研修におきましては、鹿児島大学地頭蘭名誉教授には崩壊地まで参加者と一緒に登山頂くと共に現地で講義頂きました。また、熊本県さんには事前の調整や当日の先導を頂くなど多大なご協力を頂きました。ここに記して感謝申し上げます。

以上